滋賀県議会だより



No.134　　編集・発行／滋賀県議会

9月定例会議の概要

9月17日～10月15日の29日間

9月定例会議では、地方財政措置を踏まえて新たに設置する滋賀県地域未来基金への積立てや令和8年熊本地震への対応等のため、73億7,171万9千円を追加する「令和8年度滋賀県一般会計補正予算（第6号）」など、知事提出議案34件と議員提出議案5件（意見書案5件）が上程されました。

これらの審議の結果、意見書案2件を否決したほか、決算特別委員会を設置して休会中に審査することとした令和7年度滋賀県歳入歳出決算の認定議案等を除き、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

また、各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審議等を行いました。

9月定例会議における質疑・質問から

質疑・質問の詳細はこちらから

県政運営

問　三日月知事4期目のスタートになる令和9年度予算編成にあたり、知事が重点項目として取り組もうとする施策について伺います。

答　「子ども・子ども・子ども」など、6本の柱[※1]に基づき、次期基本構想実施計画[※2]の初年度の県政を着実に推進するとともに、令和9年度という時機を捉え、産業競争力の強化に向けた国の動きに呼応する「地域の特性を生かした経済の活性化」、一過性のキャンペーンにとどめず、地域を豊かにする「デスティネーションキャンペーンを契機としたまちづくりの推進」、5年間の集中的な取組期間の集大成となる「県北部地域の振興」の3つの取組を、全庁一丸となって推進していきます。

防災対策

問　政府の地震調査委員会が8月に発表した近畿の活断層の長期評価によると、琵琶湖西岸断層帯は、地震発生確率が最も高い3%以上のSランクに位置付けられています。いつ、どこで発生しても不思議でない大規模災害への備えを進め、本県の防災力を一層強化する必要があります。

令和8年熊本地震の被災状況や、支援の経験を踏まえた本県の防災対策の展望を知事に伺います。

答　今回の熊本地震における教訓として、大きく3点あると認識しています。

1点目は、「暑さや断水への対応を含む避難所の環境改善」です。本県では災害関連死を防ぐため、指定避難所等に可搬型空調設備や、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）入りコンテナなどの整備に着手しており、引き続き避難所の環境改善に取り組みます。

2点目は、「在宅避難や車中泊避難への支援体制の確立」です。見回りや車中泊避難スペースの確保などの課題解決に向け、市町の取組を支援していきます。

3点目は、「災害対応業務の効率化や迅速化」です。今回の被災地支援において、被災者の生活再建に必要な各種調査や証明書の発行などに、膨大な事務処理が必要であると再認識しました。

このため、業務のデジタル化に向け、具体の議論を進めるとともに、職員の育成や受援体制の充実に取り組んでいきます。

彦根城の世界文化遺産登録

問　このたび、彦根城が世界文化遺産登録に向けた国内推薦候補として、正式に決定されたことは大変喜ばしいことですが、この決定は、ゴールではなく、世界遺産登録に向けた新たなスタートです。今後は、登録を実現するための取組と同時に、登録後の価値を将来にわたって守り、地域の活性化に生かすための準備を進めなければなりません。知事は国内推薦候補決定をどのように受け止め、世界遺産登録の実現に向け、どのような決意を持って取組を進め、登録後は、「世界遺産・彦根城」を核として、滋賀県をどのような地域にしていきたいと考えているのか伺います。

答　30年以上という長きにわたる、多くの関係者の皆様のご尽力に、深く感謝を申し上げたいと思います。彦根城が世界遺産の候補として、ふさわしい資産であるとの評価を、文化審議会からいただけたことは大きな成果であり、大変名誉なことです。

先人により守られてきた世界的な価値をもつ貴重な文化財を、未来に向けて引き継いでいくことが私たちの使命です。

令和10年の登録実現と登録後を見据え、国、彦根市、県民の皆さんと共に、引き続き全力で取り組み、彦根城の世界的な価値を本県の文化・経済の核として、世界に誇れる滋賀県を築いていきたいと考えています。



彦根城の天守

祝　彦根城 世界文化遺産へ　国内推薦候補に選定！

健康しが

問　「ひとの健康」を支える医療・介護は、安心な暮らしを支える上で不可欠であり、それを担う人材の確保・育成・定着は最重要課題です。

2040年を見据えた介護人材の需給状況は、現在よりも一層深刻化することが予想され、より根本的かつ効果的な人材確保策が不可欠です。

必要とする介護人材をどのように確保し、地域の介護サービスを将来にわたって維持していくのか、知事の認識と戦略を伺います。

答　本県の直近の需給推計では、2040年に介護職員が約9千人不足する見込みで喫緊の課題であるため、県では、介護関係団体、市町等で構成する人材確保の協議会において、2040年に向けたロードマップを作成し、①介護の魅力の発信、②介護テクノロジー導入やタスクシフト／タスクシェアによる生産性の向上、③介護未経験者の入職支援、④外国人介護人材の確保・育成・定着等について、連携・協働しながら進めていきます。

また、質の高いケアを維持していくためには、専門的な知識・技術の向上やハラスメント対策など、働きやすい環境の整備にも一体的に取り組む必要があり、次期レイカディア滋賀高齢者福祉プランのもと、より一層、関係者と連携・協力し、介護人材の確保・育成・定着に向けた取組を強化していきます。

インターハイ

問　この夏、近畿6府県を中心に全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が開催され、滋賀県は幹事県として大会の運営を担いました。また、県内の高校生が、「する」「みる」だけでなく、アナウンサー、手話、映像制作や、来県者へのおもてなし、大会の魅力発信など、大会を「ささえる」側としても活躍しました。

大会開催に向けては、様々な課題

（裏面に続きます）

用語解説

※1「6本の柱」……県が令和9年度（2027年度）に向けた施策構築の方針案に掲げている施策の柱で、①子ども・子ども・子ども　②ひとづくり　③人と地域の健康づくり　④安全・安心で暮らしやすさを実感できる社会づくり　⑤産業の活力と魅力づくり　⑥豊かな自然を未来につなぐ環境づくり　の6本。

※2「滋賀県基本構想実施計画」……「滋賀県基本構想」に基づく県の取組を着実に進めるうえで必要な主要政策を定めるために、基本構想の計画期間である令和元年度（2019年度）から令和12年度（2030年度）までの12年間を4年ごとの3期に分けて策定する計画。次期実施計画（第3期）の計画期間は、令和9年度（2027年度）～令和12年度（2030年度）の4年間で、現行の滋賀県基本構想における最終期の計画となる。

に対応されたと思いますが、今回のインターハイの大会運営を、どのように総括しているのか教育長に伺います。

答　競技運営面では、特に暑熱対策において、陸上競技でインターハイ初の、全種目を夜間開催にするなどの取組を徹底した結果、熱中症患者数が前年大会から半減するなどの効果があり、安全な大会運営につながったと考えています。

　また、総合開会式では、県内高校生たちによる、滋賀の伝承をもとにした華麗な演奏や躍動感のある演舞を通じて、滋賀の魅力を発信するとともに、出場選手の皆さんにエールを送ることができ、参加者の心に残る式典になったと考えています。

　多くの県内高校生たちが、「する」「みる」「ささえる」形で大会に関わり、特に「ささえる」では、様々な活動を大人や他校の生徒たちと協力して取り組むことで、自分たちの新たな可能性に気付くことができたところです。

　大会に関わった全ての高校生が、この大会で得た貴重な「学び」を糧に、夢へ躍進し、社会に力強く羽ばたいてくれることを大いに期待できる大会になったと考えています。



提供：P＆P浜松

インターハイ
（陸上競技／平和堂 HATO スタジアム）

議会トピックス

●「議員と若者との意見交換会」開催！

　若者の議会への興味と関心を深めるための取組の一環として、議員と若者との意見交換会を８月26日に開催しました。

　今回は、滋賀県立大学の学生と「県議会への興味と関心を高めるための取組について」というテーマで実施し、議員11名と学生10名が参加しました。

　滋賀県の魅力や身近な課題、滋賀県政や県議会への関心について、また、地方議会に興味を持つための方策などについて、グループディスカッションや発表を通して意見交換を行いました。



●議員定数等の検討結果

　令和９年に実施予定の次期県議会議員一般選挙に向けて、議員定数等の在り方を検討してきた議員定数検討委員会（川島隆二委員長）から10月15日に検討結果が加藤誠一議長に答申されました。これを受け、以下のとおり決定され、次期（令和９年４月予定）県議会議員選挙から適用される予定となりました。

＜結果の概要＞

○議員の定数は、現行の44人とする。

○選挙区および選挙区別定数は、現行どおりとする。



選挙区	定数	選挙区	定数
大津市	10	甲賀市	3
彦根市 犬上郡	4	野洲市	2
		湖南市	2
長浜市	3	高島市	2
近江八幡市 竜王町	3	東近江市 日野町 愛荘町	5
草津市	4		
守山市	3	米原市	1
栗東市	2	合計	44

９月定例会議で審議した議案、賛否の状況、請願、意見書・決議等はこちらから▶

９月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件　　名	結果
議第115号～議第117号	令和8年度滋賀県一般会計補正予算（第6号）　ほか２件	可決
議第118号～議第125号	滋賀県地域未来基金条例案　ほか７件	可決
議第126号～議第131号	令和7年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて　ほか５件	継続審議
議第132号～議第133号	財産の取得につき議決を求めることについて　ほか１件	可決
議第134号～議第138号	権利放棄につき議決を求めることについて　ほか４件	可決
議第139号～議第142号	建物収去土地明渡等請求訴訟の提起につき議決を求めることについて　ほか3件	可決
議第143号	筆界確認等請求事件の和解につき議決を求めることについて	可決
議第144号～議第146号	県の行う建設事業に要する経費について関係市町が負担すべき金額を定めることにつき議決を求めることについて　ほか2件	可決
議第147号	令和7年度滋賀県モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分につき議決を求めることについて	継続審議
議第148号	滋賀県監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意

９月定例会議で審議した意見書

番号	件　　名	結果
意見書第13号	衆議院議員の定数に関する丁寧かつ慎重な議論を求める意見書（案）	否決
意見書第14号	非核三原則の堅持を求める意見書（案）	否決
意見書第15号	国民の理解が得られる政党交付金制度の構築に向けた必要な法整備等を求める意見書（案）	可決
意見書第16号	北方領土問題の解決促進等を求める意見書（案）	可決
意見書第17号	「防災庁」発足を契機とした防災体制の更なる強化を求める意見書（案）	可決

９月定例会議で採択した請願

●滋賀県における関連施設および県立学校の図書調達の見直しを求める請願書

●滋賀県議会ホームページ、X（旧ツイッター）

　本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。

　議会だより（広報紙、音声版）のバックナンバーも閲覧、聴取いただけます。

　また、本会議の模様はライブ中継と録画配信をしています。

スマートフォン等でもご覧いただけます。

滋賀県議会ホームページ　https://www.shigaken-gikai.jp/

滋賀県議会X（旧ツイッター）　（アカウント名　@shigakengikai）

議会からのお知らせ

●議員の辞職

　白井幸則議員（自由民主党滋賀県議会議員団）および九里学議員（無所属）から辞職願が提出され、令和８年９月17日の本会議において辞職が許可されました。

　また、駒井千代議員（さざなみ倶楽部）から辞職願が提出され、令和８年９月25日の本会議において辞職が許可されました。

●監査委員の就任・特別委員会委員の辞任

　これまで監査委員に就任していた白井幸則議員の辞職を受け、奥村芳正議員が監査委員に就任するとともに、行財政・医療福祉対策特別委員会委員を辞任しました。

●県議会議員補欠選挙の結果、常任委員会委員・特別委員会委員の選任

　10月９日に告示され、10月18日に執行された県議会議員補欠選挙（草津市選挙区）で、西田剛（にしだつよし）氏、土肥浩資（どいこうすけ）氏がそれぞれ当選されました。

　これに伴い、西田剛議員が観光文スポ・県土・交通常任委員会と行財政・医療福祉対策特別委員会に、土肥浩資議員が環境・農水・企業常任委員会と琵琶湖・森林・防災対策特別委員会にそれぞれ所属することとなりました。

●決算特別委員会の設置

　令和７年度滋賀県歳入歳出決算の認定議案等を審査するため、決算特別委員会が設置され、10月23日から５日間にわたって審査が行われました。

委員長：目片　信悟　　**副委員長**：野田　武宏

委　員：田中　英樹、谷　成隆、柴田　栄一、中川　雅史、清水ひとみ、井狩　辰也、柴田　清行、村上　元庸、桑野　仁、周防　清二、木沢　成人、田中松太郎、節木三千代

会派別議員数（令和８年10月20日現在）

自由民主党滋賀県議会議員団	21人	日本共産党滋賀県議会議員団	2人
チームしが 県議団	10人	さざなみ倶楽部	2人
滋賀維新の会	3人	無所属	3人
公明党滋賀県議団	2人	（定数 44 人）現員 43 人	

●熊本県に見舞金を贈呈

　滋賀県議会議員一同は、令和8年7月の熊本地震により大きな被害を受けた熊本県に対し、25万円の見舞金を贈呈しました。

読者プレゼント

議会に対するご意見や、議会だよりのご感想をお寄せください。
抽選で 10 名様にプレゼントが当たります！

▶応募フォーム

【応募締切】　令和８年 12 月 10 日（木）　当日消印有効

【応募方法】　ハガキ：〒520-8577　滋賀県大津市京町四丁目1-1
滋賀県議会事務局　政策調査課
Email：gikai@pref.shiga.lg.jp
ＦＡＸ：077-528-4940
フォーム：右の二次元コード

【記載事項】
- ●今号の議会だよりで興味があった テーマ・トピック、その理由
- ●その他（ご意見、ご感想）
- ●〒住所　●電話番号
- ●氏名　●年代（例：10 代）

今回のプレゼント



水茎焼マグカップ
（カイツブリのイラスト入り）

個人情報の取り扱い：いただいた個人情報は「滋賀県議会の保有する個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、抽選とプレゼント発送以外には使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

この印刷物は古紙パルプを配合しています

滋賀県議会では、県民の皆さんに議会の活動を一層ご理解いただくため、分かりやすい広報紙づくりに努めています。滋賀県議会だよりに関するご意見は以下までお寄せください。

宛先　〒520-8577　大津市京町四丁目１－１　滋賀県議会事務局　政策調査課　TEL 077-528-4094　FAX 077-528-4940　Ｅメール gikai@pref.shiga.lg.jp